

秋田県議会議員一般選挙
(秋田市選挙区)

選挙公報

平成27年4月12日執行
秋田県選挙管理委員会

「オール与党」ではダメ。

沼谷純

ぬまや じゅん

昭和48年
秋田市仁井田生まれ。
秋田南高校、秋田大学教育学部卒業。
秋田県庁を退職。秋田市横森在住。



県政に緊張感を!!

秋田の街づくり。「20年先」を見据えた私の提案

- エリア「なかいち」 公共機能の移転など抜本的に見直し。
- 旧県立美術館 県・市だけでなく、民間での活用も検討。
- 新たな文化施設 コスト・場所などを示し、県民投票を実施。
- 泉・外旭川新駅 新駅よりもバス路線の充実を優先すべき。
- アリーナ・スタジアム 前向きに検討。次世代が「住み続けたい街」に。



ぬまや じゅん
沼谷純

次代に「誇れる」秋田を創り伝えるために!

平成26年 秋田県自衛隊父兄会会長
平成22年 秋田県視覚障害者福祉協会顧問
平成19年 秋田県議会子育て特別委員会委員長
平成17年 秋田県議会文化振興議員連盟会長
平成15年 秋田県議会文化振興議員連盟会長
平成14年 秋田県議会文化振興議員連盟会長
平成12年 秋田県議会文化振興議員連盟会長
平成11年 秋田県議会文化振興議員連盟会長
平成9年 秋田県議会文化振興議員連盟会長
平成3年 秋田県議会文化振興議員連盟会長

昭和62年 秋田県議会議員
昭和41年 秋田県議会議員
昭和35年 秋田県議会議員
昭和33年 秋田県議会議員

北林こうじのあゆみ

言うべき事は言います。
やるべき事はやります。

- 少子化対策
- 若者の雇用拡大、定着化
(正規雇用を増やす)

安倍政権の下で雇用改善、賃金上昇という形で景気の好循環が生まれ始めていますが、景気回復の風はまだ一部であり、全国津々浦々までというには遠い状況です。秋田県は直面している人口減少や超高齢化などの構造的な課題や少子化対策に真正面から取り組み、次代を担う若者が将来に夢や希望を持てる秋田を創り上げてゆくために、国の施策である「地方創生」をどう具現化させ「秋田創生」につなげるかに全力で取り組んでまいります。



自由民主党公認
北林こうじ

◎農業振興

秋田県の基盤産業は農業です。農林水産委員長のたけしたは大学を卒業以来30年以上にわたり、臨床獣医師として農畜産物の生産現場で働いてきた経験を生かし、日本の食糧供給基地として、安全で安心な農畜産物の生産拡大と、農家の所得向上に尽くします。政府が検討している「環太平洋連携協定(TPP)」への参加をたけしたは断固反対です。

◎国際交流推進

わたしたち日本人が、日本のことしか考えない国民であってはならない。一歩外国へ出てみれば、日本の異なった側面も見えてきます。グローバル社会に対応するためにも、自らの海外体験(青年海外協力隊OB)をふまえ若者を中心に海外交流を強力に推進します。

たけしたの考え

◎少子化対策

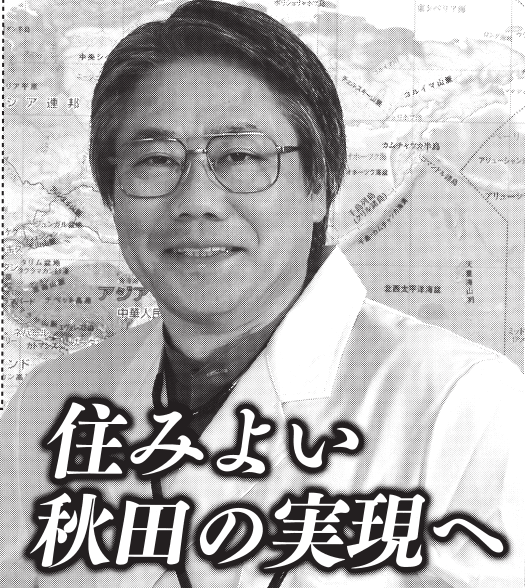
幸せな結婚生活がスタートでき、家族が、女性が、安心して子育てできる支援事業の充実を図るとともに、子育てしながら働くことのできる環境づくりに努めます。

◎自殺予防対策

自殺率全国ワーストワンの返上を目指し、悲しいできごとを少しでも減らすことができるよう、また自殺未遂者に対するケアも官民挙げての運動に力を尽くします。

◎福祉・社会の充実

今日の日本の繁栄の基礎を築いたお年寄りの皆さんには、不自由な思いをかけることなく安心して暮らしていただくことが願いです。介護の現場で働くもの(介護福祉士の資格をもつ者)として、お年寄り個人の尊厳に敬意をはらい、介護福祉の質の更なる向上に努めます。また、聴覚に障がいのある方々のための聴覚障害者情報提供施設の開設、補助犬(盲導犬、介護犬等)の育成・普及や社会的養護(特に里親制度)の普及促進に努めます。



住みよい
秋田の実現へ



自民党公認
たけしたひろひと

最上にはまだまだやるべき事があります!

- 港湾機能の強化と対アジア・ロシア貿易の促進
- 交通ネットワークの整備促進
- 国内外に向けた攻めの農林水産業戦略
- 秋田への定住定着対策
- 秋田の未来を担う教育戦略
- 子供を育てやすい環境作り
- 元気な長寿社会の実現
- 県土の保全と防災力強化
- 環日本海クルーズの実現

最上英嗣(もがみ ひでつぐ)のプロフィール

■役職/ 秋田県議会議員
■生年月日/ 昭和41年(1966年)10月18日生まれ 秋田県秋田市出身
■学歴/ 秋田市立土崎中学校
秋田県立秋田中央高等学校(第3期生)
東北学院大学卒
■職歴/ 株式会社 最上屋
■団体役歴/ 港商友会会長 秋田県柔道連盟参事
秋田みなと振興会副会長 秋田市柔道連盟参事
秋田商工会議所会議員 秋田県米穀協会参事
秋田商工会議所青年部理事 秋田県アームレスリング連盟会長
秋田青年会議所常任理事 日本バーテンダー協会参事
秋田港ライオンズクラブ会議員 秋田中央高校同窓会一交会理事

秋田創生に全力!!

港湾機能の強化、攻めの農業戦略、安全な郷土づくり。

もがみひでつぐ

最上英嗣

民間出身だからこそ分かる!今こそ、政治が何をすべきか、秋田に何が必要なのか! 戦略的なグローバル県政を創ります!

最上英嗣 検索



自民党公認
もがみひでつぐ
最上英嗣

秋田県議会議員一般選挙
(秋田市選挙区)

選挙公報

平成27年4月12日執行
秋田県選挙管理委員会

経歴

昭和 29 年 秋田市新屋生まれ
昭和 49 年 県立秋田高校卒業
昭和 50 年 秋田大学鉱山学部機械科中退
平成 7 年 秋田市議会議員に初当選
平成 11 年 秋田市議会議員に2期目の当選
平成 15 年 秋田県議会議員に初当選
平成 19 年 秋田県議会議員に2期目の当選
平成 23 年 秋田県議会議員に3期目の当選
現在
公明党秋田県本部代表
秋田県議会議員
秋田県議会建設委員
西部振興会顧問
新屋振興会顧問

実績

- ドクターヘリの導入！！
平成 24 年 1 月から運航開始
現在、青森県や岩手県、山形県と広域連携
- 女性専門外来を設置！！
東北で初めての横手市立大森病院など、県内 4 カ所
- 自殺対策を強化！！
自殺対策への基金創設を推進
- 新屋地域の松林を再生！！
松くい虫で壊滅的な被害を受けた松林を、
国の事業を活用して再生
- 妊婦健診や、がん検診の無料化！！
- 障がい児の療育や、補装具への支援！！
- 信号機や街灯を設置し、安全対策を強化！！

公約

- 「活気ある温かな秋田」をめざして！！
1、現場に即した「地域包括ケアシステム」の構築
2、生活自立支援の充実
3、障がい者や障がい児への支援強化
- 「魅力ある秋田」をめざして！！
1、人口減少・超高齢社会への対応
2、中小・零細企業の振興
3、農林水産業の振興
4、地産地消エネルギーと低炭素まちづくりの推進
5、観光産業の振興
- 「安心な秋田」をめざして！！
1、地域の防災・減災、防犯対策への取り組み
2、「空き家」問題への対応
- 「活力ある秋田」をめざして！！
1、女性と若者の活躍
2、教育の充実
3、NPO 等非営利法人の活動支援



公明党公認

田口さとし

誇れる秋田の未来を創る！

魅力溢れる秋田のために、黒崎が実現します！

1 地域が輝く一次産業

秋田の誇れる環境と自然災害の少ない土地柄での三次産業は安全で安心、かつ高品位な農産物の生産を支えます。
県が設置している農業・果樹・畜産・水産・花き・森林の各試験場が生んだ成果をいち早くビジネスチャンスに結び付け、雇用の創出を図ります。

2 創意工夫の二次産業

各地域が守り育てた伝統技術や素材を磨き、今までにない発想で魅力ある新商品を作ります。
大量生産から少量高品位の製品開発にシフトし、開発・研究のリスクを軽減するために産・官・学の連携を推進。これまで地道に積み重ねてきた「メイド・イン・アキタ」への評価をさらに高めます。

3 心でつながる三次産業

少子高齢化や人口減少に歯止めをかける当面の対策として、交流人口の増加を目指します。従来の観光にとどまらず、世界水準の医療をアピールすることによって患者・家族を迎え入れるほか、社会人・大学のスポーツチームの強化合宿を誘致するなど、さまざまな提案を行います。
積極的に外部との交流を推し進め、県民の温かさを知ってもらう機会を増やすなどし、秋田のイメージアップと観光産業の振興に努めます。



黒崎一紀
くろさき かずき

力を合わせ 安倍暴走ストップ

みなさんの願いまっすぐ県政へ！

財源はあります

県で自由に使える予算(財政調整基金)の300億円のほんの一部を使う。成瀬ダム(260億円)、鳥海ダム(960億円)の予算をくらしへ回せば、できます。

◆ひとり親家庭への経済的支援を

◆若者の雇用の場を増やします

◆学校給食に秋田市産の農産物を

◆家庭ゴミは無料に

有料化2年半で14億円の市民負担。市民のみなさんと力をあわせて、無料化の実現へ



◆介護保険料・利用料の負担軽減

特養ホームを増やします。介護保険を「市町村まかせ」にせず、県の支援を



◆中学卒業まで医療費無料

市の支援を増やし、市で5億円あればできます

◆国保税1世帯1万円引き下げ

県の支援を増やし、市で5億円あればできます

負担増・福祉切りの捨て路線と対決 家計応援・くらし第一で

再稼働せず「原発ゼロ」の日本へ
自然エネルギー大県・秋田を
開発可能量は全国2位

農業を「つむぎ」して、なになが「地方創生」か！
農協解体反対！TPPから撤退を
ただちに米価暴落の対策を
農政連からの「推薦」いただき、全力でがんばります

消費増税10%増税はキツバリ中止
富裕層・大企業に応分の負担を

「戦争立法」
自衛隊員や若者を戦場に送るな
憲法9条をいかにした平和外交を

総選挙で躍進した力もいかし、
政治を変えます！
法案化の中止を

略歴 ● 1961年仙北市西木生まれ
● 角館南高校・中通看護学校卒 ● 1980年医療法人
明和会中通病院勤務 ● 1999年秋田市議当選・4期
ブログ Kagayatzuko.blogspot.jp

私は、「人々の苦勞を少しでもやわらげたい」
この思いで、政治にたずさわってききました。
この4年間、約200件の生活相談を受けてきました。

山内梅良前県議が奮闘してきた日本共産党
の議席は、安倍暴走政治から、県民のくらしを
守る防波堤の役割を果たしてきました。

私も、みなさんの願いをまっすぐ県政に届ける
ために全力でがんばります。

中通病院で看護師18年、
市議16年。看護の心で
くらし・命をまもります



かがや 加賀屋ちづ子
日本共産党

あした 秋田をつくる 未来をつくる



5つの約束

- ① 秋田県の未来につなげるため、秋田市の発展に取り組みます。
- ② 人口減少を抑制するため、若者の雇用拡大に取り組みます。
- ③ 出産、育児、教育。今と未来の子ども達を支えます。
- ④ 地域のスポーツ振興に取り組みます。
- ⑤ 新エネルギーに携わる産業の創出に取り組みます。



鳥井大蔵

秋田県議会議員一般選挙
(秋田市選挙区)

選挙公報

平成27年4月12日執行
秋田県選挙管理委員会

豊かな経験、今こそ県政へ。

秋田の
活力は
人の力!

【農林業】

稲作からの転換と地下水熱活用技術の確立による複合化。
林業大学校が秋田の起爆剤に!

【ものづくり産業】

建設担い手3法改正を力に、若手技能・技術者の
育成と事業承継の推進

【福祉医療健康】

介護予防の充実強化で
「活動的な80歳・あきた県」

【スポーツ】

東京五輪・パラリンピックを契機として、
高齢者・障がいを持つ方々に対するスポーツ環境と
都市空間を提供できる社会の構築

【教育・人材育成】

秋田を愛する心を育み、Aターン・Uターン!

【観光・文化・芸術】

「国文祭」で見直された
秋田の至宝で「あきたおこし」

昭和32年(1957年)9月16日生まれ 57歳
昭和51年 県立秋田工業高校土木科卒
55年 八戸工業大学土木工学科卒(第1期生)
55年 秋田市都市建設公社採用
平成18年 秋田市総合振興公社退職(27年間勤務)
平成19年 県議会議員(秋田市選挙区)初当選
平成23年 県議会議員(秋田市選挙区)再選
農林水産常任委員長
秋田県監査委員
●農業経営(水田3.0ha)●(有)旭川でんばた舎取締役
●直接支払制度活動組織「旭川の恵み」代表●秋田工
業高校同窓会会長●秋田県日本中国友好協会副会長
●JA新あきた青年部連絡協議会顧問●自民党秋田市
支部支部長●学校法人八戸工業大学評議員●社会福
祉法人ともしび会評議員●秋田市サッカー協会副会長
●一級土木施工管理技士●測量士



よし藤のり
自民党公認



社民党

石川ひとみの略歴

1969年3月 県立秋田北高校卒業
その後、合成洗剤追放運動、
戦争への道を許さない女たち
の会、コミュニティユニオンなど
への参加を通じて、社会的な
活動を展開してきた
2003年4月 市議会議員に初当選
2007年4月 県議会議員に初当選
2011年4月 県議会議員2期目当選

みんなのひとみがキラリとひかる街づくり

ひとみ これまでの実績(一部を抜粋)
●秋田県道56号秋田天王線(通称:新国道)への
ロードヒーティング設置
●雪害対策として住宅の雪害化改修経費を助成
●秋田緑ヶ丘病院(秋田市飯島)に認知症疾患
医療センターを新設
●子ども一人ひとりに寄り添った細かい
教育のための少人数学級を拡大
●動物管理センターにふれあいスペースの
設置を提案

子どもたちに
向き合う時間を増やすため、
教職員の多忙化を解消し、
教育の機会均等に注力します。

教育の充実

女性の生き方・働き方を
支援する体制づくりを目指し、
人口減少社会に対応します。

女性の活躍

雇用の創出
安定した生活を実現するため、
雇用を創出し、
賃金改善と長時間労働の
解消を目指します。

いのちとくらしが 最優先!



社民党公認
石川ひとみ

「若い力」を県政のマウンドへ!

秋田県議会議員候補
自民党公認

今川ゆうさく



昭和47年秋田市生まれの42歳

故 今川敬三、故 礼子の長男として
秋田市に生まれる。子供5人の子育て中。
秋田経済法科大学法学部卒業。秋田市議会議員2期
(総務委員長等)。自民党秋田市支部幹事長。
自民党秋田県秋田市第十二支部長。
秋田市立秋田商業高校硬式野球部後援会副会長等。



秋田県の底力。次の世代につなげる秋田県の創生。

- ◆秋田の地域性を踏まえた子育て支援の充実
- ◆元気な長寿社会の実現に向けた福祉の充実と健康づくりの推進
- ◆県・市連携による持続可能な公共施設の統合整備
- ◆歴史や伝統・文化を継承した道德教育と幼児教育の充実
- ◆「スポーツ王国・秋田」の復活に向けた「スポーツ立県・秋田」の推進
- ◆秋田県農・林業の持続的発展を図るための施策の推進



今川ゆうさく

これまで、これからも やります!!

元気の源、中小企業の振興

雇用を生み出す元気な秋田の中小企業を支援

秋田の礎、農林水産業の推進

作る・磨く・届ける=6次産業化の推進

秋田の魅力、観光資源

自然・食・文化で地域資源の磨き上げ

医療・福祉の充実

目指そう、健康長寿・生涯現役

未来をつくる!!



知恵を絞る!
ムダを絞る!

未来を担う教育・人材育成

ひとりの学び・みんなの学び・心の学び・人づくり

少子化対策・子育て支援

仕事と育児の両立、環境整備

秋田の安全・安心

命を守る、暮らしを守る、地域防災力の強化

三浦しげと
の略歴

昭和33年 4月 秋田市外旭川に生まれる
52年 秋田県立秋田南高等学校卒業(13期)
56年 青山学院大学経済学部経済学科卒業
秋田銀行入行
平成16年 3月 御所野ニュータウン支店長
18年 8月 本荘駅前支店長(現・本荘東支店)
21年 3月 審査部次長を経て22年6月退職
23年 4月 秋田県議会議員 初当選 現在に至る
現在 秋田県議会建設委員会 副委員長

秋田で一緒に はたらき隊!!



みうら
三浦しげと

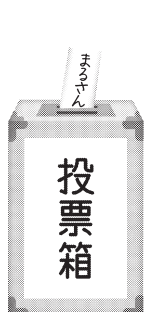
秋田県議会議員一般選挙
(秋田市選挙区)

選挙公報

平成27年4月12日執行
秋田県選挙管理委員会

新たな可能性に向けて 前に進む!!

釣り人にやさしい環境づくりを推めます!プロトップスポーツを応援しよう!



投票はまるさんでお願いします。

人口減少社会でも地域における支え合いや協働等による地域コミュニティの形成

秋田で生まれ、ここで働く若者の定住に向けた雇用促進

子供を産み、育て、未来につながる環境整備

農と食と伝統工芸による新たな観光振興の取り組み

「地域資源を活かす」「新エネルギーに注目」実感をあなたの手でつかもう!

中・高スポーツのあるべき姿と有望選手への対応

この名前と付き合って約40年になります

昭和30年能代市ニッ井町生まれ
家族
妻(新潟県上市出身)
長男(茨城県市川市出身)
二男(高校球児)

趣味
釣り(バス、スノーボード)
郷土芸能鑑賞
70・80年代ロック
自己流料理 など



自民党公認
まるさん

戦え、有権者たち。

道具を使いこなせ。明日の秋田を選べ。

推薦人
石川 好 秋田公立美術工芸短大元学長、啓発団体「選挙に行こう勢!」元共同代表
土田康雄 秋田市元第一助役
谷 京子 かたりの会主宰



「変える」ために「変わる」
4年前の県議会議員選挙、秋田市ではほぼ半数の有権者が投票を棄権しました。そして、2年前の県知事選挙では現職が無投票で再選されています。与党が過半数を占める県議会は有権者の声を代弁してきたのでしょうか。是非々々は貫かれてきたのでしょうか。故郷の将来について真摯に議論してきたのでしょうか。誰が議員になっても同じという考えのままでいいはずがありません。有権者が変わらなければ議会は変わらないのです。自分たちの未来は自分たちで責任を持って選択する。それが自治の基本です。秋田の明日をつくるために投票券という「道具」を手にとってください。

石川れんじろう



石川れんじろう

すずき健太のプロフィール

昭和50年生まれ 神戸市出身 京都大学法学部卒業後、陸上自衛隊に幹部候補生として入隊。イラク、東ティモールPKO派遣。平成18年退職、秋田へ移住。平成19年司法書士試験に合格、現在司法書士として相続・成年後見などの業務に従事。

主な役職

司法書士法人岡田事務所 共同代表
広面小学校 PTA副会長
広面地区体協 理事
広面商工振興会 事務局次長
秋田県司法書士会 理事
公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート秋田支部 理事
平成26年度秋田商工会議所青年部 理事(国際交流事業担当)

自由民主党

39歳



秋田を強く、前へ!

健太の決意①

政治に強烈なチャレンジ精神を!

現状維持では秋田は衰退するばかり。「前例がない」「不公平だ」という理由で変化を恐れている場合ではありません。リスクをいとわず新しいことに挑戦する!この強い決意を政治の世界にももたらししていきます。

できる! できる! できる!
その根拠① 自衛隊時代からいつも第一線、海外派遣にも参加。無職で秋田に来て約9年、地盤も知名度も何もない本当にゼロからの挑戦。失うものがない、まさに人生そのものがチャレンジ。

健太の決意②

批判ではなく、新しいアイデアを提示する!

秋田を活性化するには若者の意見を直接届ける必要があります。しかし「世代間闘争」といった考え方で現状批判ばかりしていても、前に進むことはできません。先輩たちへの敬意を忘れず、かつ若者が本当に盛り上がり行けるようなアイデアを、発言力をもって提案していきます。

できる! できる! できる!
その根拠② 野球少年の頃から陸上自衛隊まで、いつもたくさんの友人に囲まれていました。秋田に来てからも司法書士として約7年半、誠実に地道に働き続けて多くのお客様と信頼関係を築いてまいりました。信用とコミュニケーションによって、成果を生み出すことを学びました。

健太の決意③

外から見た秋田の魅力を発信!

ハイレベルな食文化、個性豊かな郷土文化と大自然、全国トップの教育水準。他県・外国から見ると秋田は本当に魅力的なところ。この秋田の強みを「外からの目」でさらに発信し、観光や食、農業といった高い潜在能力を「所得」に変えるため、全力で行動します!

できる! できる! できる!
その根拠③ 大阪生まれ、神戸育ち、大学時代は京都、自衛隊では九州・関東・全国各地で暮らしたからこそ「秋田は素晴らしい!」と断言できます。またイラク派遣では通訳も務めた英語力で、外国人へのPRもがんばります!

4児の父、元自衛官!



すずき健太 けんた
自由民主党 公認

くるみ宣言2015

1. 中小企業が主役となる秋田をつくります。

県工事や物品の調達等が県内中小企業に発注される手立ての確立と、実勢をカバーした労務単価の実現で若者が県内で働けるようになります。

3. 旧県立美術館を残します。

国文祭で高まった県内の芸術文化活動を継承していくためにも、旧美術館を大事に活用してまいります

2. 働く女性にとって子育てしやすい環境を整備し、人口減少に歯止めをかけます。

学童保育への県の助成額を増やします。保護者からの保育料を安くし、子どもを何人産んでも安心して預けられ、また子どもの急な発熱でも仕事を休めない時、病児保育に預けて仕事を続けられるようにします。

4. 全国一の杉人工林を有する秋田を、木材産業と木質バイオマス事業で元気にします。

大規模企業の県内誘致が難しい現在、木材産業とバイオマス事業で秋田を活性化し、雇用を増やします。

動かなければ、変わらない!!



丸の内くるみ